



1月2日

毎年恒例となりました新春街頭演説を立憲民主党北海道第9区総支部代表の山岡達丸衆議院議員と行いました。

室蘭の元気を取りもどす！！

市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、コロナ禍の中でのいつもとは違う新年をお迎えのことと思います。

去年は、何ととっても猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な活動に大きな影響を受けた1年でありました。2月28日の全国に先駆けて出された北海道独自の緊急事態宣言に始まり、4月から5月には、国による緊急事態宣言が発出されるなど、感染は全国に拡大していきました。

その後は、いったん収束傾向も見られたものの昨年秋からの拡大傾向は収まらず、PCR検査数の増加もあるとはえ、1日の新規感染者数が3～4千人を上回るなど、一向に終息する気配が見られません。重症患者も増加し医療崩壊が危惧されるどころであり、再度の緊急事態宣言や特措法の改正も取り上げられているところでもあります。

さて、コロナ以外の市政を振り返りますと、日本製鉄で19年ぶりとなる高炉改修が実施されるなど明るい展望もあったところですが、一方では、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに尽力いただいている市立室蘭総合病院において、一時、麻酔科医の退職により救急医療等に支障が出るなど、市立病院のあり方を含めた地域医療連携再編問題をはじめ、フェリー航路や市場、さらに人口減少が続く中でのまちづくりの方向性や大型公共施設の建て替えなど、重く、大きな課題を抱えているところであり、今が本市にとって正念場であります。新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えない中だからこそ、市民の安全・安心と本市のさらなる発展のために、行政と議会、そして市民の皆さんを含め室蘭市が一丸となって行かなければなりません。

私といたしましても、本市諸課題解決に向けて、皆さんと共に室蘭をもっと元気にするために全力を尽くしてまいります。今後ともなお一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息と皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭にあたっての小田中みのるの決意といたします。